

残暑お見舞い申し上げます



佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
✉ hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

協会会員数
医科 643人
歯科 337人
合計 980人

(6月30日現在)

主な記事

5月の中旬頃から、新緑の雲仙にミヤマキリシマ（つつじの一種）が色を添えます。
(鹿島市 掛園 浩)



第34回定期総会を迎えて

会長 藤戸好典

社会保障費用の増大、とりわけ医療費と介護保険費の増大は確かにこれら日本において大きな問題です。政府が「医療保険制度改革関連法」や「医療・介護総合法」において、必死に社会保障費用の増大にブレーキをかけようとしていることは理解できます。しかし、消費税増税と並行的に、このように国民に対して自己負担増ばかりを求める政策では、経済的に余裕のある階層だけが社会保障を享受できることになり、国民皆保険制度とは名ばかりの、保険証があつても治療が受けられない、介護が受けられない階層の増大が危惧されます。つまり、貧しいものに保険料を負担させ、富める者が社会保障を享受するというなんとも大きな矛盾を含んだ政策を推し進めることになるのではないかでしょうか。税金の応能負担原則を徹底させ、大企業の優遇税制を改善し、莫大に溜め込んだ内部留保の一部を社会保障費用に利活用すべきです。

さて、東日本大震災から既に4年4カ月も経過しましたが復旧復興はわずかな進展に過ぎず、いまだに故郷を奪われ帰郷できない被災者が11万人以上存在しています。原子力規制委員会の新規制基準適合という文言で、原子力

発電所の安全性が担保されているかのような錯覚を利用し、強引に原発再開に向けた政府の姿勢は決して許されません。地球温暖化防止対策のためにも再生可能エネルギー社会実現のための政策をもつともっと積極的に押し進めたいと思います。

国民の命と健康を守ることに日々努力を怠らないわれわれ保険医にとって、いかなる戦争も許されるものではありません。しかし、今日日本は戦争のできる国に進もうとしています。これから日本、そして世界を担う子どもたちのためにも絶対的な戦争放棄を声に上げていくことが必要です。

佐賀県保険医協会は、発足以来34年間、保険医の権利と経営を守り、地域住民の医療改善活動に全力を傾けるとともに、全国的な運動にも可能な限り取り組んでまいりました。これからも国民の健康と生命を預かる医師・歯科医師の団体にふさわしい活動を進めてまいりたいと思いますので、今後とも皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

2015年7月25日



曙光 お盆の時期になると思いつ出しがあります▼福岡市にいた頃、大学の友人の初盆参りに行き、その時初めて彼が福岡から高知のトントンボ自然公園に出かけたことを知りました。お参りの翌日、私の自宅の櫻の木にオニヤンマが一匹留まっています。咄嗟に彼が会いに来てくれたのだとカメラのシャッターを切りました。今でもその写真はあります。数年後に鳥栖市に移転しましたが、その夏にまたもやオニヤンマが駐車場の榆の木に留まっています。ただでさえ珍しいオニヤンマに2度も遭えるなんて驚きです。一緒に初盆参りに行つたN君にその話をすると、似た体験談を話しました。N君の大学時代からの親友O君はクモ膜下出血で亡くなりました。N君が南海の孤島の岩場で釣りをしていた時、頭に出血した大きな黒鳥が彼の横に留まり、気味悪かつたので氣にも留めず追つ払ったが、翌日、別の島の岩場での釣りにもまた出血した同じ黒鳥が横に留まつたそうです。N君はO君が南海まで会いに来てくれたのだと今でも信じています▼亡き人が赤とんぼや蝶として帰つてくると信じている人の家に開けた窓から赤とんぼや蝶が入ってきてグングル回つて帰つた話や、自宅庭に想像だにしないキジが足元で遊んで帰り、亡き叔母を想つた話も、新聞に載つっていました▼して、ロマンとして…

(上松誠八郎)